

国公立対策／文系数学演習について

☆講義について

- ①宿題用ノートと復習用ノートの2つを用意すること。授業中配布する“今日の要点”プリントは、復習用ノートに貼り付けるかファイルに閉じることを強く勧める。プリントがどこにあるのかわからないというようなことは避けること。
- ②授業中に必ず確認問題を一定時間で行い、回収する。A type が抜き打ち問題（基本問題・センターレベル）で、**B type は前回の授業内容の復習として出題される。**一定の点に足りない者には特別課題（Penalty）が課される場合がある。A type は毎回行うとは限らない。
- ③授業中では、主に講義や例題を取り上げる。その他に宿題として課題を出す。それらの取り扱いについては別途指示する。
- ④各回の宿題は、一週間の中でうまく調節してやること。また宿題は、指定された解答用紙あるいは、ノートにおいて行う。
- ⑤解説・解答を参照すれば済む話については、**授業中必ずしも説明したりはしない。**授業中・授業外に解かせる全ての問題に対して解答を配布する。自宅などで自己採点し復習すること。
- ⑥ただ、以上はあくまでも予定であるので、その都度講師の指示に従うこと。

☆略語について

授業で使用する記号は以下の通りである。

- eg. …例 <英語の example の発音から>
- cf. …参考・参照 <ラテン語の confer>
- ℓ. …例題 <ローマ字読みの reidai の “r” を “ℓ” にしただけ>
- kℓ. …基本例題 <例題 “ℓ” にローマ字読み kihon の “k” をつけただけ>
- Ex. …練習問題 <英語の exercise>
- ×. …演習問題 <英語の exercise の “x” >

☆復習ノートについて

授業 or 宿題でやった問題のうち、間違えた問題の重要箇所をノート一冊決めて**丁寧にまとめる**。その際、ただ答えを書くのではなく、何がこの問題のポイントか、考えたり強調したりしながら書くこと。間違えた問題を復習もせず放置するのは愚かしいことの極みである。また、一度答え合わせしてちょっと復習したぐらいで抑えられることなどほとんどないのだから、このノートを作成することで、復習が確固たるものとして自分自身に定着されることを願う。また、他の必須とされていない授業でも、向上心が少しでもあるならば、自主的に作成すべきであろう。

数学の授業方針について

担当 河野愛一郎

① 大学入試の実態

a) 国公立入試

<センター試験>

…科目数;5教科7科目など

【特徴】

- ①基本知識を問う問題。計算力が勝負。
- ②全てマークだが、選択肢ではない。
- ③時間が厳しい。

<二次試験>

…英数国地歴による2教科から4教科5科目まで。

【特徴】

- ①実は出される問題は決まっている
- ②記述式

【対策】

…科目数が多いので、意外と正答率は高くない。記述力と思考力がないと、計算力がいくらあってもどうしようもない。ある一定水準まで実力が伸びると、かなり有利になる。

b) 私立入試

…基本的に英・国と社・数・小論文のうち選択した1科目などによる3科目。英語の配点が高く、それに比して数学・地歴公民などの配点は低い。

【特徴】

- ①マニアックだが、社会ほどではない。国立よりは簡単。しかし、何が出るか謎。
- ②マーク式

【対策】

・・・問題のレベル自体は優しい(その傾向は近年激化)が、合格者平均は低い。大学側は社会受験よりも数学受験者を好むが、ほとんど選択してくれない(私立文系の中の10%未満)なので、合格水準を高く設定できない。慶応などでは、社会選択よりも数学選択の方が定員配分の面で圧倒的に有利な場合もある。配点は低いが、他教科に比べ圧倒的に有利であることは間違いない。文系が数学を最終的に選択できるかが問題。

② 授業方針

①を踏まえたうえで私の授業方針は、スタンダードの頻出問題を選抜して集中的に解いていく。

【理由】

- ① マニア問題は実際に出る可能性が著しく低い。合格者でもできておらず、差がつかない。
- ② ハイレベル問題もスタンダード問題を組み合わせでできているから。
などなど

効率的な勉強法ができるよう入試における頻出事項を授業で取り上げる。すなわち、現実の入試を最大の着眼点とした授業を行う。授業の内容は、毎週、復習ノートにまとめることで、確実に習得して欲しい。また、忘れそうな内容は、模試の勉強の一環で再度、その都度、復習することを強く薦める。

③ その他

1. 黄チャート／青チャート（赤は絶対要らない）
2. (国公立向け)「大学への数学」のスタンダード問題集(スタンダード以外の「大学への数学」はやめたほうが良い。)
3. (センター向け実戦問題集)河合>ベネッセ>駿台>Z会>旺文社>代ゼミ
4. (各大学の実戦問題集)河合や駿台が発行している
5. (計算ドリル)センター試験の過去問(これはどの会社のもでもよい)
→60分のところを30分で解く
6. (過去問)青本>緑本(過去問と言うより問題集)>>>>>>赤本
7. (数研問題集)ジュニアセレクト→メジアン→スタンダード→オリジナル(演習の方)の順に*だけ解くこと(時間がない)。頻出問題がそろっているが・・・。
8. Z会の添削は、思考力育成用。実際にあんな問題が出るわけがないことに注意すること。
9. 公式集は自分で作ったほうがよい。
10. 模試の判定自体に信憑性は薄い。だが数学は比較的マシなほう。